



発行 南区人権尊重啓発連絡会議 事務局 福岡市南区役所生涯学習推進課 (☎559-5172)

第50回福岡市人権尊重週間(12月4日～10日) 人権を尊重する市民の集い(南区)

◎開催日 12月10日(金) ◎オンライン開催・録画配信

「SNS時代、今や貴方も発信者」 ～悪意なき人権侵害を防ぐ為に～

講師 元TBS報道キャスター 下村 健一 さん

参加者 356人

講演の要旨

新型コロナウイルス感染拡大とともに コロナ差別と呼ばれる人権侵害が、インターネット上でも発生しました。SNSの使用は、大量に押し寄せる情報に振り回され、無自覚のうちに人権侵害の加害者になる危険性はもらんでいます。危険を回避する対処法について、有益な提言を数多くいただきました。

デマウィルス感染防止 4つの疑問ワクチン接種で



スライドを用いて分かりやすく語る下村さん

次の①から④の疑問ワクチンを接種すれば、デマウィルスにも簡単には感染しない抗体を身に付け、悪意なき差別への加担から自分を守れます。

Infographic showing four types of 'vaccines': 1. 'まだわからないよね?' (保留), 2. '意見・印象じゃないかな?' (意見・印象を), 3. '他の見え方もないかな?' (1つの見方に), 4. '隠れているものはないかな?' (スポットライトの).

4つの疑問ワクチン「ソ・ウ・カ・ナ」

① まだわからないよね?

初めての情報は「まだわからないよね」と一旦保留し、真偽を決めつけないことです。何が事実かの判断には知識が必要ですが、白か黒かで捉えず、即断しないことは意識だけでできます。

熊本地震発生の際、動物園からライオンが逃げたなどのデマが流され、事実と思い込み、危険を知らせようと善意で

② 意見・印象じゃないかな?

ほとんどの情報は、伝えた人の意見・印象と事実が一緒になって届きます。コロナ禍で感染防止のために良かれと思つて伝えた情報が、事実と異なり、結果的に差別につながったこともありま

③ 他の見え方もないかな?

「はじめの相談が去年より増えた」と聞いて、はじめが増えたため悪い話、相談が増えたのなら良い話というように、情報のごとくに重心を置かによって、見方や印象は変わります。想像力のス

Infographic comparing '0% or 100%' (switches) and '1%~99%' (volume knob) to illustrate the danger of binary thinking.

結論を急がず、柔軟に

④ 隠れているものはないかな?

スポーツライต์が当たっている箇所はよく見えますが、その周囲の暗がりが見えません。情報も同じで、周囲に隠れている別の情報がないか探しましょう。リツイート数などではなく、多種多様な情報源があるかどうか判断材料に



なります。また、異なる考えを持つ人とSNSでつながり、違う見方が得られるようにすること、ネット検索では異なる種類から複数の情報を選ぶことも有効です。暗がりには隠れているものを想像することで、デマや差別・偏見の情報に簡単に振り回されなくなります。

悪意なき人権侵害を防ごう

4つのワクチンは、「ソ・ウ・カ・ナ」で覚えてください。善意で発信する情報であっても、発信する責任を自覚し、拡散する前にチェックを行ってください。だまされたい、だまさない、差別しないを、ぜひ実行してください。

人権尊重週間 南区入選作品展示

なりた、なみなをうなぐ、かけはしに なまきよ、へんげんのな、差別の目 言た言葉消せなから 大切に いじめゼロみんなにこじ 大作戦 あいさちは友達づくりの第一歩 だれだてかわりの人はいないから 助け合おう 十人十色笑顔の輪 認め合おうとてもすてきな それぞれの色 咲かせよう 笑顔の花を 町中に その言葉言われた人は笑顔かな 笑つよう心のアンテナいつも立て



人権尊重をテーマにした作品を募集し、南区では入選作品をアミカスで展示しました。ポスター31点と標語11点の素晴らしい作品をご紹介します。

南区人権を考える(1)

● 令和3年9月8日(水) ● オンライン開催

一人ひとりがみんなたいせつ 絵本を通して考える子どもの思い

講師 児童文学作家 くすのきしげのりさん

参加者 353人

講演の要旨

くすのきさんは、小学校や図書館の勤務を通して多くの子どもたちと関わり、現在は児童文学作家として活躍されています。



「バリアは私達の心の中にこそある」と語るくすのきさん

本講演では、絵本の読み聞かせを交えながら、作品に込めた思いや、日常生活の中で揺れ動く子どもの心、子どもを取り巻く大人の生き方などについて、優しく語っていただきました。

この作品は、世界のバリアフリー絵本に選ばれました。この子を取り巻く周りの人の心に既成概念、固定観念、先入観、思い込み、偏見などのバリアがあると、いうことです。私たちは、相手の心の動きや考えについて、わかっていないつもりでも実はわかっていないことを認識しなければなりません。

想像する力・共感する力

絵本は文章を読むだけでなく、隠れている情報から子どもの言動の背景や家族の願いなどに思いを寄せ、描かれている場面を読み取ることで一層味わいが出てきます。そのためには、想像する力、共感する力が不可欠です。

教育現場ではコミュニケーション力が大切だと言われていますが、自分の思いや考えを伝える力だけではなく、相手の心を察する、おもいよかる、推し量

豊かな心を育む

子どもにも「将来何になりたいか」と尋ねると、職業を答えます。「将来どんな人になりたいか」と問うと、優しい人、元気な人、父母・祖父父母のような人など生き方に関する答えが返ってきます。私たち大人は、子どもたちの「環境」をつくっていると同時に、私たち自身の生き方が子どもたちの大切な「環境」でもあるのです。

子どもたちの心を豊かに育てるため、「夢」と「志」の2つを持たせてほしいと思います。

大きな社会貢献

人口70億人の地球で、一人の存在は70億分の1ですが、その一人が今日一日を心穏やかに過ごすことができれば、世界は70億分の1良くなり、10人なら100倍、100人なら1000倍、世界は良くなります。話をする時に笑顔だったら、家族や周囲の人はどれだけ和やかな気持ちになるでしょうか。これほど素敵な社会貢献はありません。自分の一日を大切に生きることが、自分でできる大きな社会貢献なのです。

人生を大切にすること

子どもも大人も一人ひとりがみんな大切な存在であり、一人ひとりが、自分の人生を自分の意志で大切に生きることが、しっかりと考えていただきたいと思えます。

地域活動の紹介 東若久校区

子どもは地域の宝

～心を育てる・学びを深める・命を守る～

東若久公民館では、「原田山に花を咲かせよう」と地域の子どもの良いところ、頑張っているところを見つけて桜の花のカードに記入し、山に見立てた掲示板で紹介するという取り組みを続けています。

令和2年度に、PTAでは、くすのきしげのりさんの作品「ええところ」を学校と公民館に配架し、「親子で読んでみましょう」と呼びかけを行いました。このように地域と学校と家庭の三者が協力し、子どもたちが「自分にはいいところがある」と思えるよう、子どもたちの自尊心を育てる活動に取り組んでいます。

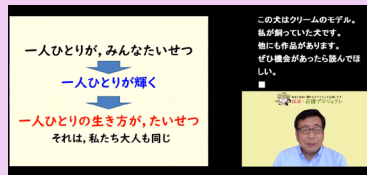
また「自学ノート」を地域から提供し、公民館の一室を学習のために開放して学びの場とする「自学室の取り組み」、さらには子どもの命を守る「青パトによる安全パトロール」を行っています。

地域の宝である子どもたちを、「心を育てる」「学びを深める」「命を守る」という3つのキーワードで、共に手を携えて大切に育てています。



学校・家庭と共に地域で心を育てる本の数々

ドキドキ(≧▽≦) 初めてのオンライン配信!!



↑ 配信画面はこんな感じ ↑

くすのき先生のお顔、スライド、要約筆記が同時に表示されます

人権が尊重される明るいまちづくりをめざし、講演会の開催や広報紙の発行などに取り組んでおります



南区人権尊重啓発連絡会議会長 あいさつ収録中



ほんまはほく、「ええことやねえ」っていわれたいんや。ほくは、「わらいい」なんやろうか...(本文より)

【編集後記】オンライン配信への挑戦には様々な困難がありました。緊急事態宣言期間であっても講演会を開催し、コロナ禍だからこそ伝えたいメッセージを発信できました。また、多くの方に参加していただき、新規参加者の開拓にもつながりました。